

○第2期霧島市子ども・子育て支援事業計画の基本理念

【資料5】

■目指すべき方向

子ども・子育て支援は、保護者が子育てについての第一義的責任を有することを前提としつつ、子ども・子育てを取り巻く環境の変化等を踏まえ、子育てに関する新たな支え合いの仕組みを構築することを目的としています。

本市では、市として一貫性のある子ども・子育て支援の推進を図るため、前期計画における基本理念を引き継ぎ、本計画によって、子ども・子育て支援給付やその他の子ども及び子育て家庭に必要な支援を行うとともに、家庭、学校、地域及び行政がそれぞれの役割を果たしながら、連携・協力を図り、安心して子どもを産み、子育てができる社会の実現を目指します。

■基本理念

～安心して子どもを産み、子育てができる霧島市～

(※親視点での意味合いが強い。)

●(仮称)第3期霧島市子ども・子育て支援事業計画の基本理念(案)

◆こどもに関する取組で国が大事にすること

「こどもまんなか社会」

～全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会～

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会。

ひとりひとりが大切にされ、自分らしく
生きられ、健やかに育っていける社会に



こども・若者はもちろん、
社会全体が幸せになる

◆キーワード

若者、ウェルビーイング、生き抜く力、多様性、権利が守られる、自分らしく、幸せを感じる、健やか

◆基本理念(3案) (※こどもの視点と「こども大綱」を勘案して考案)

- ① みんなで支えあい、すべてのこども・若者が幸せを感じるまち“きりしま”
- ② すべてのこども・若者が健やかに育ち、幸せを感じるまち“きりしま”
- ③ こども・若者の輝く未来へみんなと共に育ち合う“きりしま”

第2期霧島市子ども・子育て支援事業計画の体系

(仮称)第3期霧島市子ども・子育て支援事業計画の骨子(体系)案

